

日 時	令和8年1月26日(月) 13:40~14:50
学校名/機関名	小山市立小山城南中学校
対 象	1年生6クラス(210名)
講 師	奥澤 健二 氏 (奥澤産業株式会社 代表取締役社長) 古口 勇二 氏 (株式会社古口工業 代表取締役) 轟 昂洋 氏 (日豊工業株式会社 代表取締役社長) 橋本 恵美 氏 (栃木小松フォークリフト株式会社 代表取締役会長) 林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長) 平野 和正 氏 (株式会社正和 代表取締役社長)
内 容	<p>「働くこと(職業)に対する意識と意欲を高め、自分自身の生き方を考える」というテーマのもと、職業講話を実施しました。</p> <p>まず「働くとは、お客様や世の中の役に立つことであり、全ての仕事はどこかで繋がっている」、「多くの人が関わって社会が成り立っている」という本質的な考えを示しました。また、組織における各部署の役割やリーダーの役割に触れ、チームワークの重要性を説きました。</p> <p>社会人として身に付けるべき習慣としては、挨拶や感謝、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底、第一印象とも言える「初頭効果」の重要性を強調しました。さらに、これからの時代においては、必要な情報を得るための「コミュニケーション力」や「AIへの適切な問いを考える力」が不可欠であると説きました。</p> <p>自分に合った仕事を見つけるには、周囲の変化に気づく「感性」を磨き、「観察力」を高めることが大切であると助言しました。仕事における責任と達成感は共に上がっていくものであり、資格や知識、経験を積み重ねることで「やりたいことをやれる自分」になれると伝えました。最後に、大谷翔平選手の「目標達成シート」を例に、自ら学ぶ姿勢を持ち、心身を整えていくことの大切さを伝えるなど、講師それぞれの思いを語り、締めくくりました。</p>

